

## 公共交通不便地域対策ニュース 臨時号

世田谷区 道路・交通計画部 交通政策課

区では、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、この間の勉強会の開催等を休止し、本ニュースをもって公共交通不便地域対策に関する情報を発信してきたところです。緊急事態宣言が再度延長されている状況等を踏まえ、この間の検討状況や今後の取組みについて本ニュースにて情報共有させていただきます。勉強会の開催ができず大変申し訳ございませんが、ご意見・ご質問等がございましたら、下記問い合わせ先までご連絡いただければ幸いです。

## 「砧モデル地区コミュニティ交通の検討について」

## ○需要予測アンケートを踏まえた収支分析

アンケート結果から利用者数の予測を行ったところ、定員8名での運行を想定した場合、実証運行移行の基準として設定した収支率30%を上回る結果（収支率34.5%）となりました。

## ○新型コロナウイルス感染症対策を行った場合の利用予測

新型コロナウイルス感染症の感染状況が予断を許さない中、コミュニティ交通の運行にあたっては利用者が安心して乗車できるよう、感染症対策が必要となっています。

コミュニティ交通の感染症対策として、車内の換気や消毒に加え、乗車定員の制限を行っている事例もあり、本事業のメインターゲットが重症化リスクの高い高齢者であること等を踏まえると、実証運行にあたり十分な感染症対策が求められます。

乗車定員の制限を行った場合の利用予測の比較	乗車定員	年間利用者数 (人/年)	運賃収入① (円/年)	運行経費② (円/年)	収支率 (①/②)
	8人	22,092	4,860,240	14,100,000	34.5%
	5人	15,270	3,359,400	14,100,000	23.8%

- ・運行経費：事業者による見積額をもとに算出（車両経費を除く令和2年度時点の額、今後変更の可能性あり）
- ・利用意向の設問における「運行後すぐ利用したい」の回答を予測のサンプルとして抽出、顕在化率10%で算出
- ・運賃を220円、年間運行日数を261日（週5日運行：平日4日、土休日1日、祝日等を加味）で算出

## ○令和3年度の実証運行について

感染症対策（乗車定員の制限）を行った場合、実証運行移行の基準として設定した収支率30%を下回る予測結果となりました。このため、新型コロナウイルスに関する見通しが不透明な状況下で実証運行を行い、継続運行の可否等を判断するのではなく、他の旅客運送事業における感染症対策の動向や、区内におけるワクチン接種状況等を一定程度踏まえた後に実証運行を行う必要があるものと考えました。

ついては、区の財政状況等も踏まえ、令和3年度の実証運行を見送り、令和4年度の実証運行に向けた検討を行うこととします。

## ○令和3年度の実証運行について

令和4年度の実証運行、その先の継続的な運行に向けては、コミュニティ交通を支えていく地域の力が重要です。令和3年度は感染症対策の検討だけでなく、地域の皆さまと連携し一層の機運醸成等に取り組んでいきたいと考えております。

実証運行を見送ることとなり恐縮ですが、新型コロナウイルスに関する状況を見極めつつ、勉強会の開催等を検討してまいりますので、引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。